【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公表番号】特表2003-528904(P2003-528904A)
【公表日】平成15年9月30日(2003.9.30)
【出願番号】特願2001-572072(P2001-572072)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６１Ｋ　 7/40
　Ａ６１Ｋ　 7/00
　Ａ６１Ｋ　 7/42
　Ａ６１Ｋ　45/06
　Ａ６１Ｐ　17/00
【ＦＩ】
　Ａ６１Ｋ　 7/40
　Ａ６１Ｋ　 7/00　　C
　Ａ６１Ｋ　 7/00　　D
　Ａ６１Ｋ　 7/00　　G
　Ａ６１Ｋ　 7/00　　J
　Ａ６１Ｋ　 7/00　　K
　Ａ６１Ｋ　 7/42
　Ａ６１Ｋ　45/06
　Ａ６１Ｐ　17/00

【手続補正書】
【提出日】平成15年8月26日(2003.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
有効量の、少なくとも１つのプロテアーゼ阻害剤及び少なくとも１つの細胞分化促進剤を含んでなる、皮膚への局所適用のための組成物。
【請求項２】
前記プロテアーゼ阻害剤が、トリテルペノイド含有抽出物及びそれの活性成分、フェノール含有抽出物及びそれの活性成分、並びにタンパク質ベースの抽出物及びそれの活性成分から成る群から選択される、請求項１の組成物。
【請求項３】
前記プロテアーゼ阻害剤が、シラカンバ（ｗｈｉｔｅ　ｂｉｒｃｈ）抽出物、シダレカンバ（ｓｉｌｖｅｒ　ｂｉｒｃｈ）抽出物、ボスウェリア（Ｂｏｓｗｅｌｌｉａ）抽出物、クマコケモモ抽出物、センテラ・アシアチカ（Ｃｅｎｔｅｌｌａ　ａｓｉａｔｉｃａ）抽出物、ピゲウム（プルヌス）・アフリカヌム（Ｐｙｇｅｕｍ（Ｐｒｕｎｕｓ）ａｆｒｉｃａｎｕｍ）抽出物、ベツリノール、ベツリン酸、ボスウェリン酸、ウルソール酸、オレアノール酸、オレアノール、アシアチコシド（ａｓｉａｔｉｃｏｓｉｄｅ）、アシアチック酸（ａｓｉａｔｉｃ　ａｃｉｄ）、マダガシック酸（ｍａｄａｇａｓｓｉｃ　ａｃｉｄ）、緑茶抽出物、リンゴ抽出物、ＥＧＣＧ，ＥＣＧ、カテキン、フェニルプロパノイド、フロレチン、大豆タンパク質、卵プロテアーゼ阻害剤、コレステロールスルフェート、フィトステロールスルフェート、及びこれらの組合せから成る群から選択される、請求項１

の組成物。
【請求項４】
前記プロテアーゼ阻害剤が、シラカンバ抽出物、ベツリノール、ベツリン酸、ボスウェリア抽出物、ボスウェリン酸、及びこれらの組合せから成る群から選択される、請求項３の組成物。
【請求項５】
前記細胞分化促進剤が、ホルスコリン、スクラレオリド（ｓｃｌａｒｅｏｌｉｄｅ）、７－デヒドロコレステロール、及びビタミンＤ３アナログから成る群から選択される、請求項１の組成物。
【請求項６】
前記促進剤がスクラレオリドである、請求項５の組成物。
【請求項７】
約０．００１～約１０％のプロテアーゼ阻害剤及び約０．００１～１０％の細胞分化促進剤を含んでなる、請求項１の組成物。
【請求項８】
約０．１～約１％のプロテアーゼ阻害剤及び約０．０５～１％の細胞分化促進剤を含んでなる、請求項１の組成物。
【請求項９】
前記阻害剤がシラカンバ抽出物、ベツリノール又はボスウェリン酸であり、そして前記促進剤がスクラレオリドである、請求項８の組成物。
【請求項１０】
更にコレステロールスルフェートを含んでいる、請求項１の組成物。
【請求項１１】
更に少なくとも１つの脂肪酸、少なくとも１つのセラミド、及び少なくとも１つのステロールを含んでいる、請求項１０の組成物。
【請求項１２】
前記脂肪酸がＣ１２～Ｃ２０の脂肪酸である、請求項１１の組成物。
【請求項１３】
各々約０．０５～１０％のコレステロールスルフェート又はフィトステロール、脂肪酸、セラミド、及びステロールを含んでいる、請求項１１の組成物。
【請求項１４】
更に、有効量の少なくとも１つの自己日焼け（self-tanning）剤を含んでなる、請求項１の組成物。
【請求項１５】
前記の自己日焼け剤がＤＨＡである、請求項１４の組成物。
【請求項１６】
更に、少なくとも１つの日焼け止め剤を含んでなる、請求項１の組成物。